■トピックス

日加国交五〇周年の主な予定 美術展や日加学術会議など

カナダと日本が公使を交換して外交関係を樹立してから、今年で五〇年。以来、両国の関係は経済の分野のみならず、政治、文化、学術などの面でも目ざましい発展をとげた。

この五〇周年を記念して、両国の緊密な関係を示すいろいろな行事や催し物が予定されている。現在までに確定しているのは次の通り。

○アルバータ州美術展

絵画、版画、彫刻、織物など、アルバータ州で活躍する芸術家の七〇点をこえる作品を集めたもので、一月十二日、北海道近代美術館で開幕した。同美術展は、帯広市民会館（一月三十日～二月十二日）、東京・藤田観光椿山荘美術館（二月十七日～二十八日）、箱根・ホテル小涌園特設会場（三月三日～三月十日）、京都国際ホテル展示場（三月十四日～三月二十一日）、神奈川県立県民ホール・ギャラリー（三月二十六日～四月一日）の各会場を巡回する。

○「カナダの全貌」写真展

カナダの国土、国民、産業、風景などを、四〇枚近くのカラー写真で紹介するもので、一月いっぱい、横浜港で係留されている氷川丸で展示されたあと、各地で展示が予定されている。

○「エスキモーとその芸術展」

エスキモーの版画、彫刻、風景画など、数十点からなり、東京銀座のミタケ画廊（二月一日～二月十日）、神奈川産業貿易センター（三月二十五日～四月一日）などでの開催が予定されている。

○「現代カナダ風景版画展」

栃木県立美術館（四月一日～十六日）千葉県立美術館（七月三十日～八月十二日）で。

以上のほか、スポーツの分野では、オールド・タイマーズ世界アイス・ホッケー選手権大会が、三月十七日から二十四日まで東京の品川アイススケート・センターで開かれる。これには、日本、カナダ、フィンランドから十六チームが参加することになっている。また二月十五日から二十六日まで、ブリティッシュ・コロンビア州からプリンス・ジョージ・モホークス・チームが来日し、日ソ加アイス・ホッケー交流試合に参加する。

学術交流の分野では、日本カナダ学会（旧日本カナダ研究会）が八月三十一日から九月三日まで、両国の学者・研究者による日加会議を東京の八王寺大学セミナーハウスで開催する。また国際経済商学学生協会（アイセック）日本委員会では、関西（日生中之島研究所、七月八日～十一日）と関東（八王寺大学セミナーハウス、八月三十一日～九月二日）で「日加学生交換および学生会議」を予定している。

カナダ貿易センター サンシャイン60でオープン

カナダの商品を展示する「カナダ・トレード・センター」が、東京池袋のサンシャインシティにあるワールド・インポートマート七階でオープンした。

日加間の貿易は、往復で年間四五億ドルに達しているが、カナダ側としては日本に加工品の輸入をもっと増やして欲しい。そこで貿易センターを設けて、工業製品の市場拡大に力を入れることになったもの。

トレード・センターの開所式。

トレード・センターでは、一月末に開かれた毛皮・宝飾展を皮切りに、自動車部品展（二月十三日～十七日）、海洋機器展（三月十三日～十七日）のほか、電子機器、レジャー用品、建築資材、加工食品などの展示会を予定している。

脚光浴びる光学繊維 電話線やケーブル網に

直経が一センチのおよそ五〇分の一という極小の高純度ガラス繊維（オプティック・ファイバー）の中を光の信号によって声や情報を伝えるファイバー・オプティックスが、新しい情報革命をもたらすものとして注目されている。

カナダでは、片道五万から五〇万の音声回路をつめるというこのガラス繊維を、電話線、ケーブル・テレビの回線、コンピューター接続回線などに応用する実用試験が、世界に先がけて進められている。

まず、ベル・カナダ社は、連邦政府の協力を得て、トロント市のヨークビル地域で、ガラス繊維を使った電話線を四十三世帯につないで、音声、ビデオ、データの多重電送をテストしている。

またマニトバ州の首都ウィニペグに近いエリーという村でも、同じような実用試験が行われている。エリーでは、一九八三年までに、電話通話、テレビ受像（五もしくはそれ以上のチャンネル）、FMラジオ受信、銀行やテレショップ（コンピュータで運営する〝無人ストア〟）との双方向コンピュータ接続などが、ガラス繊維を通じて可能になるという。

カナダでは一九七六年、ベル・ノーザン社が、首都オタワの国防省本部に、ガラス繊維を用いたほとんど盗聴不可能な内線電話、双方向有線テレビ、高速度データ通信網を設置したが、一般用に実用テストされるのはこれが初めて。

今後は、カナダ各地でガラス繊維の実用化が進むものと期待されている。

新総督にシュライヤー氏

カナダの新しい総督に、五年間総督を勤めたジュール・レジェ氏に代わって、前マニトバ州首相エドワード・シュライヤー氏が就任した。

シュライヤー氏は四十三才。一九五八年に若干二十二才でマニトバ州議会の議員に当選して以来、州および連邦の議会で活躍した。一九六二年から三年間は、マニトバ大学で政治学と国際関係の教授も経験している。一九六九年から一九七七年まで、州首相の地位にあった。